

京都府内の中小企業は、市場のグローバル化や取引関係の多様化、また急速な技術革新への対応等大変厳しい経営環境に置かれており、技術センターでは「技術支援」、「人材育成」、「研究開発」、「情報発信」を柱にさまざまな企業支援を行っているところです。

平成31年度においては、京都府産業を支える中小企業の皆さまの技術力向上を支援するため、当センター憲章をよりどころとして第3期中期事業計画を推進し、以下の項目を重視しながらさまざまな取組を行います。

## I 企業支援の充実

企業からのさまざまな技術相談に対応し、組織的に支援できるよう、当センター内外の連携強化と業務改善を図ります。

## II 新たな分野への挑戦と新産業対応

企業の新規分野への挑戦を支援できるよう、研究開発機能を強化します。

## III 情報発信の強化

支援を必要とする企業への情報発信を進めるとともに、当センターの周知を図ります。

## 事業概要

### (1) 中期事業計画の重点取組の推進

当センターが「頼られるセンター」であることを目指し策定した「第3期中期事業計画」において掲げた「三つの重点」と「六つの取組」を職員一丸となって遂行します。

### (2) 技術支援

急速な産業構造変化の中で中小企業が力強く活動できるよう、各種技術相談や技術的裏付けをとるための依頼試験、機器貸付による開発支援を行います。また、企業等の要請や府施策に呼応した技術的支援・対応を行います。

### (3) 人材育成

日々革新する技術動向等を中小企業が的確に把握し、新技術開発に役立てるよう技術の各分野における各種研究会、セミナー、講習会等を開催します。また、研究生や実習生の受入による研究者・技術系職員の能力向上の支援を行います。

### (4) 研究開発

当センター独自の調査研究や企業や大学と当センター職員による共同研究及び業界ニーズに基づく研究開発を中心に行い、実用化への取組を進めます。また、それらの成果を広く公開し、中小企業の技術振興を図ります。

### (5) 関係機関との連携

中小企業の新製品開発や技術革新を促進するため、近隣公設試験研究機関、各種産業支援機関や大学との連携活動を強化し、支援体制のより一層の充実を図ります。

### (6) 情報発信

各種広報媒体を活用し、迅速・柔軟かつ効果的な産業情報を提供します。また、当センターで実施した研究・調査の成果についての刊行物発行、研究成果発表会や施設公開など、各種成果の広報に取り組みます。

### (7) 地域産業の活性化

中丹地域の「中丹技術支援室」(綾部市)、けいはんな学研都市の「けいはんな分室」(木津川市・精華町)を拠点として、広域振興局や地域の産業支援機関等と連携し、地域特性に応じた支援を実施し、地域産業の活性化を図ります。

### (8) 技術支援体制の充実・強化

地域の中小企業に対して満足いただける技術支援を行うために、技術職員の更なる資質向上や知的財産の管理、機器の適切な整備・利用・管理に努めます。